本質安全防爆用リモートスピーカマイク取扱説明書（GMMN1111）

●はじめに

製品の安全性と電磁波による影響

> **注意** 本製品のご使用前に、この取扱説明書を良くお読みください。
> 安全にお使いいただくための取り扱い方法について重要な説明が記載されています。

●お知らせ

本製品を利用されるまえに、無線機に同封されている「無線器の製品安全性と電磁波による影響（モトローラ発行パーツ番号6804113J43_)」を参照し、電磁波エネルギー被曝限度や影響についてご確認下さい。

本製品は、米国FCC（連邦通信委員会）規定の電磁波エネルギー被曝要件を満たすために、電磁波の影響を抑制することができる職場もしくは管理された用途での使用環境を前提としており、民生の用途あるいは一般消費者向けなどの使用目的としては認可されておりません。

また、本製品は無線機に装着された状態での利用を前提として、米国FCC（連邦通信委員会）規定の電磁波エネルギー被曝要件に準拠しております。

●各部の名称

●無線機への取り付け方法について

危険 本製品の無線機への装着は必ず危険指定地域以外の安全な場所で行なってください。
（危険指定地域内で本作業は絶対に行なわないでください）

1. 無線機本体の電源を落としてください
2. 無線機本体のアクセサリ端子部保護カバーを取り外し、本製品（以下リモートスピーカマイク）を取り付けてください
   （アクセサリ端子部保護カバーは無線機に同梱されている専用工具（六角レンチ）で取り外してください）
   （注）取り外したアクセサリ端子部保護カバーは、リモートスピーカマイクを本体から取り外した際に、必ず取り付けなければなりませんので、大切に保管してください。危険地域内で本質安全防爆無線機を利用する際、アクセサリ端子部は必ずカバーもしくは、他のアクセサリコネクタにより保護されていなければなりません。
3. 無線機の電源を投入してください

●リモートスピーカマイクの装着方法

リモートスピーカマイクを最適にご利用いただくために、無線機本体とリモートスピーカマイクを身体に装着する際、リモートスピーカマイクのコードがアンテナにふれたり、交差させたりしないよう装着してください。
また、無線機とリモートスピーカマイク連結部（アクセサリコネクタ部）に負担がかからないよう、なるべく近づけた状態で装着してください。

《重要》
リモートスピーカマイクは、本質安全防爆を取得した専用のクリップ（パーツ番号 RLN6258）を利用してください。
防爆用ではない金属性のクリップ等は絶対に使用しないでください。

●受信

リモートスピーカマイクを無線機アクセサリコネクタに取り付けると、無線機のスピーカーはミュート（消音）状態となり、音声はリモートスピーカマイクのスピーカー部からだけ聞こえてきます。

●送信

1. リモートスピーカマイクの送信ボタンを押したままにしてください。
2. リモートスピーカマイクのマイク部に向かって話してください。
3. 送信ボタンから手をはなすと、送信がとまります。

（注）無線機にリモートスピーカマイクを取り付けた状態でも、無線機本体の送信ボタン操作とマイクは有効です。

●音量（調整）ボタン

“+”及び“−”ボタンを押すことで、無線機の音量ボリュームを操作することなく音量を変更することができます。

“+”ボタンを押すと音量が上がり、“−”ボタンを押すと音量が下がります。

●トップボタン（オレンジ色）

通常は使用しません。

●リモートスピーカマイクの取り外し方法

リモートスピーカマイクを無線機から取り外すときは、必ず危険指定地域以外の安全な場所で行ってください。（危険指定地域内で本作業は絶対に行わないでください）

1. 無線機本体のアクセサリコネクタからリモートスピーカマイクを取り外す前に、無線機本体の電源を落としてください。
2. 無線機に同梱されている専用工具（六角レンチ）にてリモートスピーカマイクのコネクタを外してください。
3. 無線機本体のアクセサリコネクタに必ずアクセサリ端子部保護カバーを取り付けてください。

●サービス及び保証

本製品は、現場で修理を行なうことはできません。お買い求め頂いた販売店に修理をご依頼ください。

本製品の無償保証期間は1年間です。